

# 各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
<b>C2</b>	230   200			9.0   8.5				
<b>C1</b>	199   180	3299   2600	1400   1350	8.0   7.0	400   375	800	120   95	1990   1845
<b>B2</b>	179   160	2599   2300	1349   1190	6.5   5.5	374   309	795   600	94   72	1840   1560
<b>B1</b>	159   140	2299   1950	1189   960	5.0   4.0	308   225	595   420	71   42	1555   1150
<b>A2</b>	139   120	1949   1700	959   690		224   135	415   235		1145   625
<b>A1</b>	119   100	1699   1400	689   270					620   320

□ は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

○ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。

※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。

※ TOEIC L&R/ TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※ 障害等のある受検生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。

# EST各コースとCEFRの相関

CEFR	English Speaking Trainingコース	CAN-DOリスト事例
B1	Advanced Plus	身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。など
A2	A2 High	よく使われる文や表現が理解できる。簡単な日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。
	A2 Standard	
A1	Intermediate	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表现と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。もし、相手がゆっくり、はっきり話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。
	Basic	
	Beginner	
Pre-A1		自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問したり、答えたりできる。